

砂防堰堤は大切な施設

～山ノ内町防災フェスタで土石流体感3Dシアターを上映～



土石流体感3Dシアター



土石流ミニ模型実験の様子

8月27日（土）に、長野県山ノ内町立南小学校において「山ノ内町総合防災訓練 防災フェスタ」が行われました。

湯沢砂防事務所からは、「土石流体感3Dシアター」の上映のほか「土石流ミニ模型実験」及び「パネル展示（堰堤のはたらき）」を行い、約121名の地域の児童やそのご家族の皆さまに、土石流発生の恐ろしさや避難の大切さ、砂防堰堤の効果を知ってもらいました。

模型実験の中で、「砂防堰堤のはたらき」の説明に真剣に耳を傾けていた女子児童からは「砂防堰堤は私たちにとって大切な施設なんだ！」という感想を頂きました。

また、地域住民の方の中には、山ノ内町を流れる角間川の上流に砂防堰堤があることをご存じの方が多く、過去の災害の歴史を思いおこし、改めて砂防事業の必要性に理解を示していました。

この防災フェスタでは、煙体験やバケツリレー、防災グッズの紹介、消防車や救急車の見学などが行われ、雨の中、多くの地域住民の方々が防災について学んでいました。

これから、秋雨前線や台風シーズンに入ります。非常に激しい雨が降った場合など、身の危険を感じたら一刻も早く避難することが大切です。3Dシアターの体験を思い出していただき、災害から身を守るために早めの準備をお願いします。